

編集後記

遊星人の連載記事の一つに「遊星人の海外研究記」がある。一人ひとりの研究者の横顔が見られるようで、わたしは毎回楽しみにしている。ここ数年で、海外に飛び出して研究することは以前ほど簡単でなくなってしまった。そのため、過去に海外で研究していた経験を記事にさせていただくことも増えている。しかし、どの「遊星人の海外研究記」からも、どこかポジティブな印象を受ける。記事の内容が現在か過去かには関わらないようだ。異国での生活で格闘した経験や、それぞれの国での生活や文化から、なにかおもしろいことを、自分の発見を伝えたいと思ってくださる執筆者のみなさまに感謝したい。

本号には、横浜国立大学の癸生川さんから「遊星人の海外研究記」が寄せられている。私は、癸生川さんと重なる時期にカーネギー研究所の別研究室でポストドクをしていたので、懐かしく特別な思いで読んだ。同時に、自分が経験していない“知らない話”も見たような気になった。わたしは、このあとの人生で何回

くらい、自分の知らない文化圏で暮らせるのだろうか。一回もいないなんてゴメンだ。そう思った。

大学院生のころ、一度は海外で研究をすることが、研究者になるための「必修」であると思いこんでいた。学生のときに、英語ができて、Zoomがあつて、世界の人とコミュニケーションが取れていても、やっぱり懐に入らねばならないと思い込んだような気がする。誰かに今もし聞かれたら、随分しんどかったけど外国で暮らせてよかったと言うと思う。

ちょうど10年前、Van Ness駅前のDays Innを一週間予約した。そして、トランクに入るだけの荷物と共にアメリカに到着した。右も左もわからないなか、アパート探しを手伝ってくれた癸生川さんの頼もしさは一生忘れないだろう。カーネギーを去る癸生川さんから、記事に出てくる自転車を譲ってもらった。しかし、乗ってみたら足がつかず、そのまま他のポストドクにもらわれていった。(瀧川)

編集委員

三浦 均 [編集長]

瀧川 晶 [編集幹事]

荒川 創太, 上栢 真之, 岡崎 隆司, 小川 和律, 鎌田 俊一, 木村 勇氣, 黒澤 耕介, 小久保 英一郎, 坂谷 尚哉, 杉山 耕一朗, 関口 朋彦, 瀧 哲朗, 田中 秀和, 谷川 享行, 長 勇一郎, 成田 憲保, 野津 翔太, はしもと じょーじ, 濱野 景子, 本田 親寿, 諸田 智克, 山本 聡, 和田 浩二

2022年9月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第31巻 第3号

定 価 一部 1,925円(税込・送料込)
 編集人 三浦 均(日本惑星科学会編集専門委員会委員長)
 印刷所 〒224-0044 神奈川県横浜市都筑区川向町787-1 株式会社 シュービー
 発行所 日本惑星科学会事務局
 〒140-0014 東京都品川区大井1-6-3 アゴラ大井町3階
 Tel: 03-6410-7041
 e-mail: staff@wakusei.jp
 (連絡はできる限り電子メールをお使いいただきますようご協力お願いいたします)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL : 03-3475-5618 / FAX : 03-3475-5619

e-mail : kammori@msh.biglobe.ne.jp

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。